

つきあかり・ちほみのりだより 臨時増刊号
～予想より5日程度、出穂期が早まっています～

巻農業普及指導センター

6月19日に発行された予想より、出穂期が5日程度早まっているほ場があります。

幼穂形成期を確認して、穂肥を施用してください。

幼穂形成期が過ぎている場合は、ただちに穂肥を施用しましょう。

(出穂期が著しく早まっているほ場が確認された品種は、「つきあかり」「ちほみのり」です。「こしいぶき」「ゆきん子舞」「五百万石」では現在のところ、出穂の早まりは確認されていません)

1 幼穂確認状況 (6月26日現在)

品 種	田植日 (月/日)	確認日 (月/日)	幼穂長 (mm)	予測出穂期	備 考
つきあかり	5/3	6/26	1.2	7月19日	
ちほみのり	5/3	6/25	5.2	7月15日	
つきあかり (高密度播種)	5/9	6/26	0.1	7月26日	高密度播種のため 1.6L 苗を移植

○幼穂が確認され、6月19日に発行された出穂期が予想(葉数による予測)より早まることが確認された。

○他の早生品種(ゆきん子舞、五百万石、こしいぶき)では、出穂の早まりは確認されなかった。

2 穂肥のポイント

ほ場によって出穂期が前回6月19日の予想より5日程度早まっている可能性があるため、早急に幼穂を確認して穂肥を施用する。

(1) 幼穂形成期が早まっているほ場での穂肥施用日 (5月3日植)

品 種	予測出穂期	1回目穂肥	2回目穂肥
つきあかり	7月19日	6月24～26日	7月4日
ちほみのり	7月15日	6月20～22日	7月1日

(2) 幼穂形成期を過ぎてしまった場合は、ただちに施用する。

(3) 施肥量は1回目が窒素成分で3～4kg/10a、2回目2～3kg/10a、合計6kg/10aとする。

3 水管理

○出穂後25日までは飽水管理を徹底する。

4 病虫害防除

(1) 葉いもちが発生を確認したら速やかに薬剤防除を行う。穂いもちは予防防除を行う。

(2) 紋枯病は発生実態を確認し適期に薬剤防除を行う。なお、前年多発生したほ場では早めに予防剤を施用する。

(3) 早生品種のため出穂後のカメムシ類防除を必ず行う。

5 鳥害対策

○ほ場周囲に民家や電線等がある場合はスズメの被害を受けやすいので、鳥害対策を施す。